東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所

2025年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2025年10月31日(金)分)

◆ 不適合とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

2025年10月31日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 Ⅱ: 該当なし

区分 皿: 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)において、伝熱管全4180本中、18本に減肉率50%以下の減肉が認められたため、当該伝熱管に閉止栓取付。なお、当該伝熱管の閉止許容本数(4ブロック中1ブロック51本以内)に対し、今回の18本を含めても合計22本閉止であるため、熱交換性能に影響はない。	GⅢ	10月30日
2	3号機	起動変圧器(3SA)点検後の変圧器防災設備自動噴霧試験時において、当該設備消火配管継手部から水の漏えい(非放射性の水が連続的に滴下)が認められたため、当該継手部を点検・修理。 なお、変圧器防災設備の使用は可能であることから、系統機能に影響はない。	GⅢ	10月28日